

◆ インフラツーリズムによる地域活性化に向けて、ダム施設と地域資源を連携させたモデルコースを有識者や自治体と体験し、意見交換を開催。

◆意見交換会の概要◆

日時：令和元年10月29日(火)12時～17時

概要：体験コース 地域資源（杉原千畝記念館）→ダム施設（丸山ダム・新丸山ダム工事現場）→地域資源（八百津町本町通り商店街）→地域資源（中山道御嶽宿）

意見交換 中山道みたけ館

出席者：佐藤 久美 金城学院大学国際情報学部国際情報学科 教授
長瀬 正明 (株)KADOKAWA 東海ウォーカー編集部編集長
八百津町 タウンプロモーション室
御嵩町 まちづくり課
岐阜県 県土整備部、商工労働部
中部地方整備局 福田企画部長、兵藤事業調整官、広域計画課、
新丸山ダム工事事務所、丸山ダム管理所
中部運輸局 観光部

◆主な意見◆

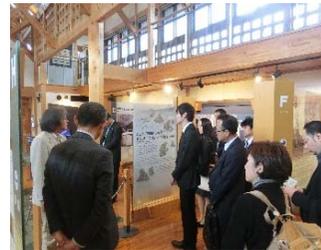
□八百津町、御嵩町における観光の現状と課題について

- ・インバウンドの取り組みとして、地元の人と接するホームビジット等の取り組みが良い。
- ・外国人に体験等をしてもらい、SNSによりPRをしてもらうと良い。
- ・外国人観光客の集客には、ホームページやパンフレットの多言語化やWi-Fi環境の整備が重要。
- ・来訪者の集計は、パンフレットにクーポンをつけるなどの工夫が良い。
- ・様々な観光資源があるので、周り方などにストーリーをもたせ、面的に紹介できるとメディアでも取り上げやすくなる。
- ・活気ある商店街にするためには、家賃を下げ、空き家に若い人を呼び込むのが良いのではないかと。

□丸山ダム、新丸山ダムを活かした今後の観光振興について

- ・ダム見学だけでなく、体験型のイベントがあるとリピーターが期待できる。スタンプラリー（見守りコンクリートのストラッププレゼント）は良い取り組みである。
- 今回の視察コースは「観る」・「歴史」・「食べる」など多様な資源が盛り込まれており良い事例である。

視察状況



八百津町
(杉原千畝記念館)



インフラ施設
(丸山ダム・新丸山ダム)



御嵩町
(中山道御嶽宿)



意見交換（中山道みたけ館）



金城学院大学 教授
佐藤 久美 氏



(株)KADOKAWA
東海ウォーカー編集部編集長
長瀬 正明 氏